

基本情報



【年齢】
39歳
【出身地】
東京都 東村山市
【転出元】
神奈川県 藤沢市
【前職】
外資系企業マネージャー
【活動時期】
R3.10～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

2020年まで北米で18年過ごす中で、日本の風土・文化をきちんと自らの五感を通して知りたかったことがそもそもの動機。そして、土地の魅力を地域内の方々に再認識してもらい、海外を含めた地域外の方に共感してもらおうきっかけづくりを考えていました。

その中で、大分県佐伯市の地域の方々のやさしさ、豊後水道や番匠川を育む美しい自然というアウトドアフィールド、今後の持続可能性・責任ある社会構築に不可欠なオーガニック憲章に大いに魅了され佐伯市を選びました。

今後の抱負・任期後の目標

定住することが大切なことに理解を示しつつ、人・知識・経験が循環する社会を目指しています。

一つの地域に移住定住者が増えるという事は、他地域からの流出があるという事、他の地域の発展の機会を奪う事になりかねないと自問自答しています。日本全体の幸福を考えると、もっと軽やかに地域と地域が、日本と世界がワクワクする事で繋がっていくことを夢見る者の存在もまた大切と考えています。任期に捉われずに、そのような自分を受け入れてくれる地域や組織と共いのんびり生きていくことが目標です。

活動内容

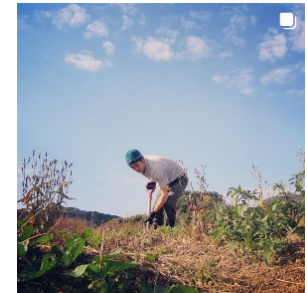
●アウトドア推進による地域活性化

「自然」というコンテンツだけではなく、他の付加価値と組み合わせたイベントを企画運営。地域外の方が楽しんで終わるのではなく、地域内のデマンドも考慮し、双方のメリットを考える。ミニマム・オペレーションにすることで、地域住民が自立し、継続運営できるよう、様々な意味でのサステナブルな道筋をのんびり模索中。



●実証有機圃場の管理運営

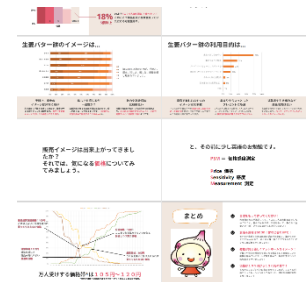
耕作放棄地や就農問題を抱える中で、「農業」や「オーガニック」というものにまず興味関心を持っていただけるよう、家庭菜園イベントを実施。育てる喜び→市民農園→休耕地へと繋がっていくストーリーを目指す。また、圃場にウッドデッキを作るなどして、気楽に、気軽に楽しめる空間づくりをしながら、今日も雑草と格闘中。



●その他

各種アンケート調査や顧客分析を通して、行政・民間含む地域の方々へ、最適なオペレーション、改善点の洗い出し、潜在的なデマンド等を共有中。

地域の人々にデータの重要性を理解してもらい、主体性を持ってアクションを起こしてもらい、失敗を恐れぬ文化の浸透を目指す。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(電話番号) 0972-46-1111 (大分県佐伯市 弥生振興局)